

## 特集 はじめての「太宰治」

「人間失格」を読んで、デビュー作を書きました。

## インタビュー 綿矢りさ

読む年齢やその時々々の気分で、ちがう読み方ができる。



## インタビュー 朱川湊人

なぜ世代をこえて愛され続けるのか？

〈人物編〉 39年の「恥多き人生」／太宰をとりまく11人（男性）〈女性〉

〈作品編〉「恍惚」と「不安」を読む16作品／思わず共感の名フレーズ16

イラスト  
MAP

ゆかりの地と作品の舞台を歩く 青森・津軽／東京・三鷹

64 文庫で読める「太宰」作品50音INDEX

特別対談

## 童門冬二 × 太田治子

わが心の内なる太宰治



50

64

46

24

14

6

## 連載小説

388 中村彰彦

先祖は名家老 花ならば花咲かん⑧

十三歳で田中家当主となった小三郎は、家祖・正玄の偉大さに触れる。

456 川上健一

宮脇志保のシヨック 9人の人類⑪

四回戦が始まった。好投手・宮脇志保が今ひとつピリツとしないのは……。

318 火坂雅志

お茶々 その一 鬼神の如く⑨

松永方の奸計にはまり、捕われの身となった左近を助け出した人物とは。

242 鏑木 蓮

少女椿のゆめ その一 思い出探偵・実相浩二郎⑨

リチャード杉山の娘・沙也香が、浩二郎に手渡した英文の手紙には……。

218 加藤実秋

俺の話の聞け Are you Teddy?②

あなたは、悪くないの。でもね、でもね、どうしてもダメなの。その声が。

298 原田マハ

メッセンジャー インディペンデンス・デイ⑨

花束に似合う言葉は「愛してる」だよ。なのに、「ごめん」って……。

418 吉野万理子

舞台の中央に立つ日 エキストラ!⑨

善段はエキストラなのかもしれないけど、今日はスポットライトが私に!

472 山本一力

焼津節 その二十六 猥雑屋佐吉御用帖⑫

大田屋の手代を捕らえた十間堀の利三は、口を割らない手代に業を煮やし……。

話題の著者に聞く  
西山繭子『しょーとほーぷ』子どもの頃の妄想を  
コミカルタッチで書きました

## 連載エッセイ

68 清水義範

新連載

パロディだらけの日本文学 ①『源氏物語』のどこが奇跡か

90 熊谷達也

個人的なふたつの貌 日本人の貌②

106 鹿島 茂

隠匿 『失われた時を求めて』を完読する⑥

134 半藤一利

第十章 焼夷弾の降りしきるとき——身体を鍛えて大破壊を見物 坂口安吾と太平洋戦争⑭

124 玄侑宗久

目の上のこぶ／身から出た錆 禪の「いろは」⑫

360 小阪裕司

文明の曲がり角に学ぶ バルバロッサな人⑭

374 森永卓郎

『夫婦の幸せ』の答え 森永卓郎の男の幸福論⑬

## 連載ノンフィクション

336 平山 譲

手作りの金メダル 逆風の人々⑨

166 鯨統一郎 七五三

連作読みきり小説

鬼姫捕り物控え⑤

男は死んでいた。その手には、下手人の  
手がかりとる響が握られていた――。

490 文蔵バックナンバー紹介

495 文蔵年間購読のご案内